

高等学校 令和4年度（1学年用）教科

農業

科目 農業と環境

教科： 農業

科目： 農業と環境

単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（ 農業701「農業と環境」実教出版 ）

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 農業と環境を学ぶ 【知】 農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けさせる。 【態】 農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協動的に取り組ませる。	・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響し合う関係にあることを理解させる。 ・農業の学び方（プロジェクト学習法）に関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。 ・プロジェクト学習法に関する基礎的な知識を身に付けさせる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解させ、取り組む意欲と態度を身に付けさせる。	【知】 農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。  【態】 農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて、主体的、協動的に取り組もうとしている。	○		○	10
B 栽培・飼育と環境のプロジェクト 【知】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解させる。 【態】 プロジェクト学習に主体的・協動的に取り組ませる。	・プロジェクト実施の意義・方法について理解させ、実施に対する興味・関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクトを実施するにあたって計画の立て方、農業生産工程管理、栽培・飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知】 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解している。 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解している。 【思】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【態】 プロジェクト学習に主体的・協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
C 栽培と飼育の基礎 【知】 作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 【思】 作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決させる。 【態】 作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組ませる。	・作物や家畜に興味関心を持たせる。 ・作物や家畜の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようにする。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身に付けさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。	【知】 作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思】 作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 【態】 作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。	○	○	○	22

1 学期

	<p>D 栽培と利用 (エダマメ)</p> <p>【知】・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解させる。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。</p> <p>【思】作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。</p>	<p>・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解させる。</p> <p>・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につけさせる。</p> <p>・「栽培管理」「生育や生育環境の調査」を適切に実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身につけさせる。</p> <p>・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけさせる。</p>	<p>【知】・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解する。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>【思】作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C 栽培と飼育の基礎						9
	D 栽培と利用 (ダイコン)						17
2 学 期	E 私たちの暮らしと農業	<p>・人間と他の生物との関係、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について関心を持ち、探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。また、食と農業の現状や動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。</p> <p>・人間と他の生物との関係、環境と農業、生活に関する諸課題の解決を目指し思考を深めさせ、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その課程や結果を適切に表現する力を身につけさせる。</p> <p>・食と農業、環境と農業、生活に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用する力を身につけさせる。</p> <p>・食と農業、環境と農業、生活に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解させる。</p> <p>・食と農業の動向と課題に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割・環境・暮らしとの関係を理解させる。</p>	<p>【知】私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>【思】私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的根拠などに基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	○	○	○	12
	F 都市緑化の方法と利用	<p>・人間生活が環境に影響を与えていることについて理解させ、都市環境の現状を把握させる。</p> <p>・都市緑化の技術を身につけさせる。</p> <p>・都市環境の現状把握に基づき、効果的な改善方法を考察し、具体的な活動を実践させる。</p>	<p>【知】都市の環境とその調査、改善方法について基礎的な内容を理解するとともに、都市緑化の技術を身につける。</p> <p>【思】都市の環境とその調査、改善方法に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>・都市の環境とその調査、改善方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p>				16
	定期考査			○	○		1
	E 私たちの暮らしと農業						18

3 学 期	F 林地の調査の方法と利用 【知】林地の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 関連する技術を身につけさせる。 【思】林地の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。 【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組ませる。 ・林地の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。	・人間生活が環境に影響を与えていることについて理解させ、林地の現状を把握させる。 ・林地調査委の指標及び、調査方法を身につけさせる。 ・林地の現状把握に基づき、効果的な改善方法を考察し、具体的な活動を実践させる。	【知】林地の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 関連する技術を身につける。 【思】林地の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組む。 ・林地の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。				16
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 農業 科目 総合実習A

教科： 農業 科目： 総合実習A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書： ( )

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
造園分野 単元「造園緑化材料①」 【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	造園分野 【指導事項】 ①講義：草本と木本の違い。実習：植栽地の除草、ササ、ドウダンツツジの刈込み。 ②講義：開花期と花芽分化期。実習：植栽地の除草、サツキツツジの刈込み。 ③講義：樹木の実用上の分類。実習：校内樹木採集、分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。	造園分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②造園樹木を分類することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）	○	○	○	6

1 学 期	<p>果樹分野 単元「果樹の栽培管理①」</p> <p>【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>果樹分野</p> <p>【指導事項】 ①講義：果樹の種類の違い。実習：農具の扱い方と除草。 ②講義：果樹の仕立て方と整枝。実習：摘花。 ③講義：果樹の枝の特徴。実習：果樹採集、分類。</p> <p>【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。</p>	<p>果樹分野</p> <p>【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②果樹に合った道具を使用することができる。（観察） ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】 ①果樹の管理方法を説明することができる。（レポート） ②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート） ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	6
	<p>草花分野 単元「花壇材料①」</p> <p>【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>草花分野</p> <p>【指導事項】 ①花壇材料の栽培「播種」 ②花壇材料の栽培「鉢上げ」 ③花壇材料の栽培「鉢替え」・講義：「草花の分類」</p> <p>【教材】 ①タブレットを活用し、栽培課程の記録をする。</p>	<p>草花分野</p> <p>【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②基本的な栽培技術を理解することができる。 ③草花の草姿・葉・花から植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】 ①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②花壇材料を分類することができる。（観察、ワークシート） ③花壇の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	6
	定期考査			○			1
	<p>造園分野 単元「造園緑化材料②」</p> <p>【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>造園分野</p> <p>【指導事項】 ①講義：芝生の特性、役割・効果。地被植物の特性。実習：芝生管理。 ②講義：老化現象、紅葉の仕組みについて。実習：庭園管理、樹木観察 ③講義：樹木の萌芽力。実習：庭園管理。</p> <p>【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p>	<p>造園分野</p> <p>【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察） ③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②各樹木の紅葉について説明することができる。（観察、ワークシート） ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	6

2 学 期	<p>果樹分野 単元「果樹の栽培管理②」</p> <p>【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>果樹分野 【指導事項】</p> <p>①講義：果樹の収穫方法。実習：収穫方法と調整。 ②講義：果樹の病虫害防除。実習：除草、バンド誘殺、粗皮削り。 ③講義：果樹の枝の特徴。GAPの取り組み。実習：分類。</p> <p>【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。</p>	<p>果樹分野 【知識・技能】</p> <p>①実習場において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②果樹に合った剪定ができる。（観察） ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①果樹の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート） ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	6
	<p>草花分野 単元「花壇材料②」</p> <p>【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>草花分野 【指導事項】</p> <p>①講義：花壇の特性、役割・効果。 ②講義：花壇の維持管理。実習：花壇管理（除草、枯草取り除き） ③実習：花壇植栽</p> <p>【教材】 ①タブレットを活用し、花壇植栽の記録をする。</p>	<p>草花分野 【知識・技能】</p> <p>①実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②草花に合った栽培管理をすることができる。（観察） ③草花を見て植物名、科名を分類することができる。（授業内テスト・定期考査） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート） ②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	6
	定期考査			○			1
	<p>造園分野 単元「造園緑化材料③」</p> <p>【知識及び技能】 造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決す</p>	<p>造園分野 【指導事項】</p> <p>①講義：樹木の剪定方法①。実習：庭園管理。 ②講義：樹木の剪定方法②。実習：庭園管理。 ③講義：植栽の評価。実習：庭園管理</p>	<p>造園分野 【知識・技能】</p> <p>①実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察）</p>				

	<p>る力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p>	<p>③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。(授業内テスト・定期考査) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート) ②校内の植栽を評価することができる。(観察、ワークシート) ③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察) ②造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	6
3 学 期	<p>果樹分野 単元「果樹の栽培管理③」 【知識及び技能】 果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>果樹分野 【指導事項】 ①講義：果樹の選定方法。実習：剪定。 ②講義：果樹の施肥。実習：施肥。 ③講義：果樹の枝の特徴。実習：分類。 【教材】 ①タブレットを活用し、成長の記録をする。</p>	<p>果樹分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。(観察・レポート) ②果樹に合った剪定ができる。(観察) ③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。(授業内テスト・定期考査) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①果樹の管理方法を説明することができる。(レポート) ②果樹を分類することができる。(観察、ワークシート) ③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①果樹の管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察) ②果樹の管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	6
	<p>草花分野 単元「花壇材料③」 【知識及び技能】 花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>草花分野 【指導事項】 ①講義：冬花壇作製 ②講義：冬花壇の管理 ③講義：植栽の評価 ④実習：冬花壇製作 ⑤実習：花壇管理 ⑥実習：春花壇製作 【教材】 ①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p>	<p>草花分野 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート) ②草花に合った栽培管理をすることができる。(観察) ③草花を見て植物名、科名を分類することができる。(授業内テスト・定期考査) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート) ②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察) ②花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	6
	定期考査			○			1
合計							56

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教科： 農業 科目： 農業と情報 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書： （ 「農業と情報」（実教出版） ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けること。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 私たちの生活と農業の情報化 【知識・技能】 情報の特徴と性質を理解し、メディアリテラシーについて理解すること。 【思考・判断・表現】 情報化社会の課題を発見し、モラルを守ろうとすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業の情報化に必要な技術について自ら学び、必要な技術の収集について主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報化社会における私たちの生活 ②情報とメディア ③情報化とモラル ④農業を支える情報 単元テスト ・教材：教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・情報の特徴と性質を理解している。 ・メディアリテラシーについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報化社会の課題について考えている。 ・情報化社会におけるモラルについて考え、モラルを守ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業の情報化に必要な技術について自ら学ぼうとしている。 ・農業の情報化に必要な技術の収集について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	第2章 社会を支えるコンピュータ 【知識・技能】 コンピュータの概要を理解し、情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解すること。 【思考・判断・表現】 インターネット検索の課題について考え、データや情報の種類とその表現方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①コンピュータの仕組み ②データや情報の表現 ③情報通信ネットワーク ④インターネットの仕組み ⑤情報セキュリティ 単元テスト ・教材：教科書、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・コンピュータの概要を理解している。 ・情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・インターネット検索の課題について考えている。 ・データや情報の種類とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、その重要性を理解し、その表現方法を身に付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 ①情報表現のためのソフトウェア ②文書の作成と表現 ③データの集計と視覚化 単元実技テスト ・教材；教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末	【知識・技能】 ・各種ソフトウェアの特徴と機能を理解する。 ・各種ソフトウェアの基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・正確な情報収集についての課題について考えている。 ・記録の重要性を理解し、その表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	14



2 学 期	<p>第3章 コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。</p> <p>【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項</p> <p>④データベースシステムとオープンデータ</p> <p>⑤画像・図形処理ソフトウェアの利用</p> <p>⑥プレゼンテーション</p> <p>⑦情報発信</p> <p>⑧問題解決の方法</p> <p>単元実技テスト</p> <p>・教材；教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末</p>	<p>【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第4章 スマート農業への展望</p> <p>【知識・技能】 AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解し、本校気象センサの活用方法を身に付けていること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①スマート農業のめざす将来</p> <p>②システム開発と設計</p> <p>③プログラムの設計</p> <p>④計測と制御</p> <p>⑤リモートセンシングとGIS</p> <p>⑥人口知能</p> <p>単元テスト</p> <p>・教材；教科書、パソコン室端末、タブレット端末、IoT機器（農場）</p>	<p>【知識・技能】 AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
3 学 期	<p>第5章 農業情報の分析と活用</p> <p>【知識・理解】 農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法を理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業情報の分析方法と活用方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①農業情報の収集と分析</p> <p>②農業生産や経営情報の分析と活用</p> <p>③環境に関する情報の分析と活用</p> <p>④食品や地域資源に関する情報の分析と活用</p> <p>単元テスト</p> <p>・教材；教科書、パソコン室端末、タブレット端末</p>	<p>【知識・理解】 農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業情報の分析方法と活用方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第6章 農業学習と情報活用</p> <p>【知識・理解】 農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①農業学習とプロジェクト学習</p> <p>②プロジェクト発表と情報発信</p> <p>③データの視覚化と分析</p> <p>単元テスト</p> <p>・教材；教科書、パソコン室端末、タブレット端末</p>	<p>【知識・理解】 農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
							合計
							46

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 農業 科目 栽培と環境

教科： 農業 科目： 栽培と環境 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（ 実教出版「草花」・実教出版「農業と環境」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	栽培と環境について農業生物の栽培や管理に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
△単元「キク①」 【知識及び技能】 キクの繁殖と育苗について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 キクの繁殖と育苗に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 キクの繁殖と栽培の情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導事項】 ①品種の選定 ②ウイルス、病害虫 ③栄養繁殖方法 ④栽培技術と栽培環境 ⑤土壌と苗鉢上げ ⑥肥料の性質と施肥 ⑦農薬の特性と防除の方法 【教材】 ①実教出版「草花」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録をする。	【知識・技能】 ①実習・実験場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。 ②実習・実験場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。 ③栄養繁殖「挿し木法」を理解し、挿し穂を調整することができ、繁殖できる。 ④キクの仕上がりをイメージし、必要に応じて、摘心することができる。 ⑤レポートに課題や実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①キクの繁殖と育苗に必要な栽培管理、栽培環境についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。 ②キクの繁殖と育苗の栽培過程での課題を発見し、情報収集して解決することができる。 ③キクの繁殖と育苗の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①キクの繁殖と育苗に関心をもち、積極的に実習に参加している。 ②キクの繁殖と育苗に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。 ③キクの繁殖と育苗に関心をもち、栽培記録にタブレットを活用している。	○	○	○	10

1 学 期	<p>B単元「花壇用草花の栽培」</p> <p>【知識及び技能】 花壇用草花の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 花壇用草花の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 花壇用草花の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>①プロジェクト学習の意義 ②プロジェクト学習の進め方 ③草花の繁殖方法 ④種子繁殖方法 ⑤栽培植物と環境要素 ⑥栽培植物の育成環境 ⑦花壇制作</p> <p>【教材】</p> <p>①実教出版「草花」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート) ②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート) ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察) ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート) ⑤各指導事項の内容を理解している。(考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①草花の栽培に必要な栽培管理、栽培環境についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。(レポート) ②草花の栽培過程での課題を発見し、情報収集して解決することができる。(ワークシート・レポート) ③草花の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①草花の栽培に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②草花の栽培に関心をもち、積極的に情報を取集してレポートに記述している。(レポート) ③草花の栽培に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>A単元「キク②」</p> <p>【知識及び技能】 キクの繁殖と育苗について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 キクの繁殖と育苗に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 キクの繁殖と栽培の情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>①キクの栽培 ②キクの開花習性 ③キクの開花調節 ④⑤開花調節技術 ⑥プロジェクト課題設定 ⑦～⑩プロジェクト学習</p> <p>【教材】</p> <p>①実教出版「草花」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート) ②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート) ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察) ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート) ⑤各指導事項の内容を理解している。(考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①キクの栽培に必要な栽培管理、栽培環境、開花習性についてわかりやすくまとめ、説明できる。(レポート) ②キクの栽培過程での課題を発見し、情報収集して解決することができる。(ワークシート・レポート) ③プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を取集してレポートに記述している。(レポート) ③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録にタブレットを活用している。(レポート)</p>				10

<p>二期</p>	<p>B単元「葉菜類の栽培①」  <b>【知識及び技能】</b>  葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p><b>【指導事項】</b>  ①葉菜類の栽培  ②ソーラーシェアリング  ③IoT機器の活用  ④路地栽培と人口土壌栽培  ⑤プロジェクト課題設定  ⑥～⑩プロジェクト学習  <b>【教材】</b>  ①実教出版「農業と環境」  ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b>  ①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート)  ②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート)  ③各指導事項の内容を理解している。(調査)  <b>【思考・判断・表現】</b>  ①葉菜類の栽培に必要な栽培管理、栽培環境についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。(レポート)  ②葉菜類の栽培過程での課題を発見し、情報収集して解決することができる。(ワークシート・レポート)  ③プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)  ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。(レポート)  ③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>				○	○		1
<p>A単元「キク③」<b>【知識及び技能】</b>  キクの栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  キクの栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  キクの栽培の情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p><b>【指導事項】</b>  ①②プロジェクト学習評価・反省  ③④プロジェクト課題再設定  ⑤⑥プロジェクト学習計画  <b>【教材】</b>  ①実教出版「農業と環境」  ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b>  ①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート)  ②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート)  ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察)  ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート)  ⑤各指導事項の内容を理解している。(調査)  <b>【思考・判断・表現】</b>  ①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>  ①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)  ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。(レポート)  ③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)</p>				6	

3 学 期	<p>B単元「葉菜類の栽培②」</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p><b>【指導事項】</b> ①～②プロジェクト学習評価・反省 ③～④プロジェクト課題再設定 ⑤～⑥プロジェクト学習計画</p> <p><b>【教材】</b> ①実教出版「農業と環境」 ②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート) ②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート) ③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察) ④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート) ⑤各指導事項の内容を理解している。(考查)</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。(レポート) ③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)</p>				6
	定期考査			○	○		1

合計

55

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	2単位
科目	果樹	2H1・2H2	必修選択		
使用教科書 使用教材	実教教育出版「果樹」				
評価の 観点・方法	実習の取組・態度(服装・持ち物を含む)、提出物(課題・ノート内容)、定期考査で評価				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	果樹の特性と栽培技術	芽欠きと摘花 病害虫の防除	①ナシの開花と摘果 ②ブドウの芽欠き	4
	5	果樹の特性と栽培技術	摘果とホルモン処理	①モモの摘果 ②ナシの摘果 ③ブドウのホルモン処理	8
	6	果樹の栽培と収穫	摘果と袋掛け	①生理的落果(ジューンドロップ) ②ナシ・モモの摘果の特徴 ③果樹の袋掛け	6
	7	定期考査			2
	8				
2 学期	9	果樹の特性と栽培技術	夏季剪定と収穫	①夏季剪定の目的 ②夏季剪定の方法 ③ナシ・ブドウの収穫	6
	10	果樹の特性と栽培技術	収穫と施肥	①施肥の種類と方法 ②カキの収穫方法	6
	11	果樹の特性と栽培技術	冬季剪定	①剪定道具の使い方 ②剪定の方法と効果	8
	12	定期考査			2
3 学期	1	果樹の特性と栽培技術	剪定と施肥	①剪定と樹形作り ③モモ・カキの剪定	6
	2	果樹の特性と栽培技術	剪定と施肥	①剪定と樹形作り ③モモ・ナシの剪定	8
	3	定期考査			2

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	1 単位
科目	課題研究	2H1、2H2	必修選択		
使用教科書 使用教材	日本農業技術検定<3級>テキスト				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③定期考査(期末) ④小テスト ①～④を総合的に判断し評価する。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	・栽培・飼育分野 ・主な作物の栽培例	・植物の生長 ・栽培に関わる環境要素 ・栽培・飼育作業の基礎	基礎的・基本的な知識を身に付け、学習内容を理解させる。興味を持って積極的に学習に取り組ませる。	1
	5	・農業全般の分野 ・定期考査	・日本の農業について ・農業・農村の多面的機能 ・農業に関する法律 ・農産物の流通	基礎的・基本的な知識を身に付け、学習内容を理解させる。興味を持って積極的に学習に取り組ませる。	4
	6	・環境分野 ・食分野	・人と環境の関わり・地球環境による環境問題 ・農業における環境問題・資源の有効利用 ・食品の基礎知識・地域の食材 ・食の安全	基礎的・基本的な知識を身に付け、学習内容を理解させる。興味を持って積極的に学習に取り組ませる。	3
	7	・食分野 ・定期考査	・食生活と栄養 ・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に 着けさせる。	・「日本農業技術検定3級」の問題練習 ・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
	8				
2 学期	9	・課題研究の発表に向けたコンピュータソフトの学習	・エクセルの操作方法について ・パワーポイントの操作方法について	・コンピュータを活用した情報処理作業ができる。(技術)	3
	10	・課題研究の発表に向けたコンピュータソフトの学習	・インターネットの活用方法について	・コンピュータを活用した情報処理作業ができる。(技術)	3
	11	・課題研究の進め方について	・課題研究とは何か。 ・目的実施要綱 ・課題研究の進め方	・課題に応じたまとめや適切な表現、工夫ができる。 (思考・判断・表現)	2
	12	・課題研究の進め方について ・定期考査	・進める上での注意点 ・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に 着けさせる。	・課題に応じたまとめや適切な表現、工夫ができる。 (思考・判断・表現) ・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
3 学期	1	・課題研究の課題の設定	・課題の仮設定 ・資料集め	・課題に応じたまとめや適切な表現、工夫ができる。 (思考・判断・表現)	3
	2	・課題研究の課題の設定	・計画・担当教員との相談 ・課題の設定 ・事前計画	・課題に応じたまとめや適切な表現、工夫ができる。 (思考・判断・表現)	3
	3	・課題研究の課題の設定 ・定期考査	・報告書・用紙集・発表用パワーポイントの 作成について ・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に 着けさせる。	・課題に応じたまとめや適切な表現、工夫ができる。 (思考・判断・表現) ・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	2
科目	草花	2H1、2H2	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	草花(実教出版)				
評価の 観点・方法	定期考査(各学期末に実施)、ノート記入状況、実習取り組み状況				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	オリエンテーション バラ園について	本校バラ園の特徴を理解する。 バラの特徴を理解する。	・バラ園管理実習 ・バラの観察実習	5,3
	5	バラの品種と特徴 プリムラ類の栽培 観葉植物の繁殖	バラの分類と主な品種・特徴を 理解する。プリムラ類の特徴を理 解する。観葉植物の繁殖方法を 理解する。	・バラ園管理実習 ・プリムラ類の播種実習 ・観葉植物の繁殖実習	6,6
	6	バラの栽培管理 プリムラ類の栽培	バラの開花後の管理方法を理解 する。プリムラ類の鉢上げ方法と 管理について理解する。	・バラ園管理実習 ・プリムラ類の鉢上げ実習	8,10
	7	期末考査			2,2
	8				
2 学期	9	バラの栽培管理 プリムラ類の栽培 観葉植物の栽培	バラの秋季剪定について理解す る。プリムラ類の栽培管理方法を 理解する。観葉植物の管理方法 を理解する。	・バラの剪定実習 ・プリムラ類の鉢替え実習 ・観葉植物の栽培管理実習	4,6
	10	バラの栽培管理 球根植物の分類	バラの中耕について理解する。 球根植物の種類と特性を理解す る。	・バラの中耕実習 ・球根の観察と定植実習	8,6
	11	シネリアの栽培 球根植物の繁殖	シネリアの特徴と栽培方法を 理解する。球根植物の栽培方法 と繁殖方法を理解する。	・シネリアの栽培実習 ・秋植え球根の定植実習 ・ユリの鱗片繁殖実習	8,4
	12	期末考査			2,4
3 学期	1	バラの栽培管理 シネリアの栽培 プリムラの観察	バラの寒肥と施肥方法を理解す る。シネリアの栽培方法を理解 する。プリムラ各種の特徴を理解 する。	・バラの寒肥施肥実習 ・シネリアの栽培実習 ・観察実習	4,4
	2	バラの栽培管理 シネリアの栽培 プリムラの栽培	バラの春季剪定について理解す る。プリムラの鉢替え方法と利用 方法を理解する。	・バラの春季剪定実習 ・シネリアの栽培実習 ・プリムラの鉢替え実習	4,6
	3	期末考査			2,2



## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	2
科目	野菜	2H1、2H2	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	野菜(実教出版)				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③提出物 ④期末考査 ①～④を総合的に判断し評価するが、レポートの未提出が多いときは評価が1になることがある。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	・野菜の種類と特徴 ・栽培管理と生産の実践	・分類やグループごとの性質を学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・分類、原産地、生育適温。 ・畝作り、マルチ張り、支柱たて、播種、定植。 ・GAPに則った栽培管理	3
	5	・野菜の消費 ・栽培管理と生産の実践	・食生活の変化や食の外部位、栄養特性を学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・消費動向、消費量、食の多様化。 ・追肥、土寄せ、中耕、誘引、整枝、摘果。 ・GAPに則った栽培管理	6
	6	・野菜の生産と供給 ・野菜の安全性 ・栽培管理と生産の実践	・生産、流通、安定供給、産地について学ぶ。 ・安全に関する法規、環境に配慮した栽培技術を学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・生産と供給の仕組み、生産動向、輸入、流通。 ・有機栽培、IPM、ポジティブリスト、GAP。 ・収穫、出荷、栽培評価。・GAPに則った栽培管理 ・リモートセンシングを活用した施肥、かん水	10
	7	・定期考査	・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
	8				
2 学期	9	・野菜の生育と生理 ・栽培管理と生産の実践	・発芽条件、光合成のしくみについて学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・種子と発芽、茎と葉の成長、光合成の仕組みと物質の生産。	4
	10	・野菜の生育と生理 ・栽培管理と生産の実践	・根の分類、構造、成長の仕方を学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・根の発達と肥大	8
	11	・野菜の生育と生理 ・栽培管理と生産の実践	・花芽分化と抽だいの環境条件、転流、果実の肥大、休眠の調整について学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・花芽形成と抽だい、果実の発育、休眠。	6
	12	・定期考査	・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
3 学期	1	・野菜の栽培環境と生育調節 ・栽培管理と生産の実践	・光と植物の成長との関わりについて学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・光環境とその調節	2
	2	・野菜の栽培環境と生育調節 ・栽培管理と生産の実践	・温度、湿度と植物の成長との関わりについて学ぶ。 ・品目ごとに適した栽培法を学ぶ。	・温度環境、湿度環境とその調節	4
	3	・野菜の栽培環境と生育調節 定期考査	・養液栽培の種類、植物工場での安定生産について学ぶ。・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・養液催場と植物工場 ・復習個所の指示、正誤の事後指導。	4

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	2
科目	課題研究	3H1、3H2	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	無し				
評価の 観点・方法	①出席点・主体的取り組み ②毎時の報告書 ③発表方法及び取り組み ①～③を総合的に判断し評価をつけるが、年間報告書が未提出の場合は評価が1になることがある。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	オリエンテーション 各自の研究	・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。 ・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる	年間研究計画の作成 研究をすすめるにあたって	4
	5	各自の研究	・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。 ・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる	研究の助言	6
	6	各自の研究中間報告書の作成	・主体的に研究させる。 ・記録の習慣をつけさせる。 ・報告書作成要領に基づいて作成させ、結果や考察が記入させる。	報告書作成方法 報告書作成の助言 研究の助言	8
	7	各自の研究中間のまとめ	・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。 ・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる	研究の助言	
	8				
2 学期	9	各自の研究	・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。 ・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる	研究の助言	6
	10	各自の研究	・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。 ・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる	研究の助言	6
	11	各自の研究 研究要旨の作成 年間報告書・発表の準備	・主体的に研究させる ・研究のまとめる力をつけさせる。 ・報告書や要旨に記載する内容についてまとめさせる。	研究の助言 要旨の作成方法 年間報告書の作成	6
	12	研究要旨の作成	・主体的に研究させる。 ・簡潔に述べる力をつけさせる。	要旨作成の助言	
3 学期	1	年間研究報告書の作成課題	・口頭発表方法の習得 ・第三者がわかるように発表の工夫がさせられる。 ・報告書作成要領に基づいて作成させ、結果や考察を記入。	報告書作成の助言 全学年視聴	10
	2				
	3				

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	2 単位
科目	野菜	3H1、3H2	必修選択		
使用教科書 使用教材	野菜(実教出版)				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③提出物 ④期末考査 ①～④を総合的に判断し評価するが、レポートの未提出が多いときは評価が1になることがある。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	・野菜の育苗 ・果菜類の栽培	・育苗の目的と良い苗の特徴を理解し、育苗計画が立てられるようにする。 ・GAPに則った栽培管理及び休眠、花芽分化について実習を通して理解させる。	・育苗の目的と方法 ・育苗技術の実際と応用 ・イチゴの栽培管理	6
	5	・野菜の育苗 ・夏野菜の栽培	・汎用されている接ぎ木の特性を理解させる ・マルチング、植え付け、支柱立て等の目的と方法を理解させ、実施できるようにする。	・つぎ木育苗技術 ・セル成型苗生産とその利用 ・ナス科、ウリ科、サトイモ等の栽培管理	4
	6	・野菜の育苗 ・夏野菜の栽培	・育苗の分業化とウイルスフリー苗の需要を理解させる。 ・ナスの栽培特性を実習を通して学ばせる。 特に施肥、かん水、剪定の重要性や生育の良否を見分けることができるようにする。	・栄養系苗生産とバイオテクノロジー ・企業による苗生産・苗販売 ・企業的苗生産の実際 ・リモートセンシングを活用した栽培管理及び都市型農業としての少量多品目栽培のメリット	10
	7	・定期考査	・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
	8				
2 学期	9	・野菜の流通と経営改善 ・秋冬野菜の栽培	・野菜の流通機構と特徴及び指定産地について理解させる。 ・葉菜に対する害虫防除の重要性を実習を通して理解させる。	・野菜の流通のしくみ ・葉茎菜、根菜の栽培管理	8
	10	・野菜の流通と経営改善 ・秋冬野菜の栽培	・鮮度維持の理論と技術を具体例を挙げながら理解させる。 ・葉枚数、葉面積と結球、抽苔の関係を実習を通して理解させる。	・野菜の鮮度保持 ・葉茎菜、根菜の栽培管理	6
	11	・加工・業務用野菜 ・秋冬野菜の栽培	・加工業務用野菜の需要と供給および輸入の現状について理解させる。 ・収穫調整作業を通じて安全衛生の重要性と手順を習得させる。	・加工業務用野菜の現状 ・加工業務用野菜の特徴 ・葉茎菜、根菜の栽培管理	6
	12	・定期考査	・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
3 学期	1	野菜生産の経営改善	・消費者の野菜に対するニーズと実際に行われている経営改善を理解させる。	・野菜生産の経営改善の方策 ・6次産業	4
	2	・定期考査	・学習内容の定着度を確認する。 ・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。	・復習個所の指示、正誤の事後指導。	2
	3				

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	必修	単位数	3 単位
科目	バラとキク	3H1、3H2	○ 必修選択		
使用教科書 使用教材	草花(実教出版)				
評価の 観点・方法	定期考査(各学期末に実施)、ノート記入状況、実習取り組み状況				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	小ギクの仕立て方と苗づくり バラ苗の鉢替え	小ギクのローソク仕立てと小型懸崖仕立てについて理解する。バラ苗の鉢替え方法を理解する。	・小ギクの品種と仕立て方(座学) ・キク苗の鉢替え実習 ・バラ苗の鉢替え実習	5,3
	5	小ギクの栽培 バラ苗の管理	小型懸崖用の苗づくりの方法を理解する。バラ苗の管理方法を理解する。	・小ギクのさし芽実習 ・バラ苗の鉢替え実習	9,9
	6	小ギクの栽培 バラ(野生種等)の栽培管理	ローソク仕立てと小型懸崖仕立ての誘引・摘心方法を理解する。バラの管理方法を理解する。	・小ギクの誘引・摘心実習 ・バラ(野生種・オールドローズ)の剪定、追肥実習	9,15
	7	期末考査			2,2
	8				
2 学期	9	小ギクの栽培 バラ(野生種等)の栽培管理	ローソク仕立てと小型懸崖仕立ての誘引・摘心方法を理解する。バラの管理方法を理解する。	・小ギクの鉢替え・誘引・摘心実習 ・バラ(野生種・オールドローズ)周辺の除草実習	9,12
	10	小ギクの栽培 バラ苗の管理	ローソク仕立てと小型懸崖仕立ての誘引・摘心方法を理解する。バラの管理方法を理解する。	・ローソク仕立て・小型懸崖仕立ての仕上げ実習 ・園芸展の展示準備 ・バラ苗の鉢替え実習	9,9
	11	展示発表(園芸展) 小ギクの繁殖方法 つるバラの剪定	小ギクのローソク仕立てと小型懸崖仕立てについて発表する。小ギクの繁殖方法を理解する。	・園芸展の展示発表 ・小ギクの繁殖に向けた栽培管理実習 ・つるバラの剪定実習	9,9
	12	期末考査			2,2
3 学期	1	小ギクの繁殖(冬至芽とり)□	小ギクの繁殖方法について理解する。バラの接ぎ木の方法を理解する。	・小ギクの冬至芽とり実習 ・バラの接ぎ木実習	6,6
	2	学年末考査			1,1
	3				

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	必修	単位数	3
科目	園芸デザイン	3年H1組 3年H2組	○ 必修選択		単位
使用教科書 使用教材	フラワーデザイン入門 NFD版フラワー装飾技能検定				
評価の 観点・方法	授業(実習)の取り組み・提出物(ノート等)・定期考査・出欠状況・作品の出来栄を総合的に5段階で評価				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	フラワー装飾技能検定3級	フラワー装飾技能士3級取得	ブートニア・花束・アレンジメント	9
	5	フラワー装飾技能検定3級	フラワー装飾技能士3級取得	ブートニア・花束・アレンジメント	9
	6	フラワー装飾技能検定3級	フラワー装飾技能士3級取得	ブートニア・花束・アレンジメント	12
	7	フラワー装飾技能検定3級	フラワー装飾技能士3級取得	ブートニア・花束・アレンジメント	3
	8				
2 学期	9	フラワーデザインの基本① 押し花を使った作品	「フラワーデザイン」「園芸デザイン」の用語を知る 草花の活用を考える	園芸デザインという用語の理解 草花を活用して生活に取り入れる 方法の理解 基礎的な技術の習得	9
	10	フラワーデザインの基本② ドライフラワーを使った作品	「フラワーデザイン」「園芸デザイン」の用語を考える 草花の活用を考える	園芸デザインという用語の理解 草花を活用して生活に取り入れる 方法の理解 基礎的な技術の習得	12
	11	フラワーデザインの応用① テーマに沿った季節の作品	「フラワーデザイン」「園芸デザイン」の用語を知る 草花の活用を考える	園芸デザインという用語の理解 草花を活用して生活に取り入れる 方法の理解 基礎的な技術の習得	12
	12				
3 学期	1	フラワーデザインの応用② プリザーブドフラワーとブーケ	「フラワーデザイン」「園芸デザイン」の用語を知る 草花の活用を考える	園芸デザインという用語の理解 草花を活用して生活に取り入れる 方法の理解 基礎的な技術の習得	6
	2				
	3				

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	園芸科選択2群	対象クラス	必修	単位数	3単位
科目	果樹	3H1・3H2	○ 必修選択		
使用教科書 使用教材	実教教育出版「果樹」				
評価の 観点・方法	実習の取組・態度(服装・持ち物を含む)、提出物(課題・ノート内容)、定期考査で評価				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	果樹の特性と栽培技術	摘果の方法 病害虫の防除	①モモの摘果 ②病害虫(ナシ縮葉病)	6
	5	果樹の特性と栽培技術	摘果の方法	①ナシの摘果 ②モモの摘果	9
	6	果樹の栽培と果実生産	摘果と袋掛け	果樹の袋掛けについて	12
	7	定期考査			2
	8				
2 学期	9	果樹の特性と栽培技術	夏季剪定 病害虫防除	夏季剪定の方法 バンド誘殺	9
	10	果樹の特性と栽培技術	施肥について カキの収穫	①施肥の種類と方法について ②カキの収穫方法について	12
	11	果樹の特性と栽培技術	剪定について	①モモ・ナシの剪定 ②ウメの剪定	12
	12	定期考査			2
3 学期	1	果樹の特性と栽培技術	剪定と施肥	①モモ、ナシ剪定と樹形作り ③ナシの誘引・モモ剪定	6
	2	定期考査			1
	3				

## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	3 単位
科目	植物バイオテクノロジー	3H1、3H2	必修選択		
使用教科書 使用教材	植物バイオテクノロジー(実教出版)				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③レポート ④学年末考査 ①～④を総合的に判断して評価する。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	実態顕微鏡による観察 植物体のスケッチ	実態顕微鏡を扱うことができる 植物のスケッチをすることができる	校内に生息する植物体の観察とスケッチ	3
	5	茎頂培養	植物体から茎頂を取り出すことができる 取り出した茎頂を培養できる	ジャガイモ、カーネーション、イチゴ、バラ、シンビジウムの茎頂培養	9
	6	サギソウの共生培養 サギソウの球根の培養 キクの順化	種子を無菌的に培養土に播種できる 球根、植物体を順化できる	サギソウの共生培養土作り サギソウの共棲培養 サギソウの球根、キクの順化	15
	7				
	8				
2 学期	9	ユリの花器官培養 キクの花弁培養・継代培養	メスとピンセットを用いて花器官を取り出し培養できる	ユリの花器官培養 植物体・器官・組織の違い キクの継代培養	12
	10	ニンジン <sup>1</sup> の肥大根培養 植物バイオテクノロジーとは	ニンジン <sup>1</sup> の組織を打ち出して培養できる植物バイオテクノロジーについて説明ができる	ニンジン <sup>1</sup> の肥大根培養 不定芽、不定根、分化について 園芸展での展示パネル作成	9
	11	セントポーリアの器官培養 ユリの花器官培養・継代培養	セントポーリアの葉を培養し再生することができる ユリの継代培養ができる	セントポーリアの器官培養 ユリの継代培養	9
	12				
3 学期	1	ブロッコリー、バナナのDNA抽出実験	DNAについて理解する DNAを抽出できる	ブロッコリー、バナナのDNA抽出 DNA、遺伝子について	6
	2	学年末まとめ	バイオの基礎知識を習得できている	植物バイオまとめ	3
	3				

## 令和4年度 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	○ 必修	単位数	3
科目	造園技術	3H1／3H2	必修選択		単位
使用教科書 使用教材	造園技術				
評価の 観点・方法	毎時間の実習態度(積極性・協調性・リーダーシップ性)準備片付けの姿勢・レポート・考査得点を総合し評価評定をつける。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	松の手入れ	黒松のみどりを理解させ、技術の習得をさせる。道具の扱い方を理解させる。樹木の特徴を理解させる。	みどり摘み・古葉取・脚立の取り扱い方・ロープワーク・安全管理・レポート課題	10
	5	松の手入れ 日本庭園樹木管理	黒松のみどりを理解させ、技術の習得をさせる。道具の扱い方を理解させる。樹木の特徴を理解させる。	みどり摘み・剪定法・古葉取・脚立の取り扱い方・ロープワーク・安全管理・レポート課題	9
	6	樹木の移植・スミ出し方法・石材施工	移植方法について理解させ、技術を習得させる。スミ出し手順、方法を理解させ、石材施工に必要な路盤施工の技術を習得させる。	安全管理、ドウダンツツジの移植、レベル測量機器の扱い方、路床、路盤。	12
	7	石材施工	石積み方法を理解させ、技術を習得させる。モルタルの性質、扱いについて理解させる。	小端積み、野面積み、ピンコロ積み。	3
	8				
2 学期	9	石材施工	石積み方法を理解させ、技術を習得させる。モルタルの性質、扱いについて理解させる。	小端積み、野面積み、ピンコロ積み。	9
	10	石材施工	石積み方法を理解させ、技術を習得させる。モルタルの性質、扱いについて理解させる。	小端積み、野面積み、ピンコロ積み。	12
	11	石材施工	石張り、縁石施工について理解させ、技術を習得させる。	鉄平石のらん張り、縁石、ピンコロ舗装	12
	12				
3 学期	1	整地・植栽	植栽について理解し、技術を習得させる。	低木・地被類の植栽	6
	2				
	3				



## 令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	農業	対象クラス	必修	単位数	3
科目	盆栽と古典	3H1、3H2	○ 必修選択		単位
使用教科書	教科書→なし				
使用教材	教材→松柏・雑木などの植物、盆栽栽培用資材、園芸作出菊品種各種				
評価の観点・方法	実習の取組、提出物(レポート・ノート)、定期考査で評価				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	・盆栽総論 ・懸崖菊の基礎 ・雑木類(モミジ、カエデ、カリン、ウメ等)芽摘み	・大、中型盆栽の除草、施肥、芽摘み、盆栽総論 ・懸崖菊の実際、定義 ・懸崖菊の歴史、鉢上げ	・盆栽、懸崖菊を理解させる。(知識、理解) ・盆栽、懸崖菊の種類を理解させる。(知識、思考、表現)	6
	5	・松柏盆栽の鉢替え ・実物盆栽の剪定 ・懸崖菊の基礎	・盆栽の鉢替え、選定の要点 ・菊栽培の歴史、鉢替え、摘心、施肥	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	9
	6	・皐月盆栽の花後処理 ・黒松の短葉法 ・懸崖菊の仕立て方1	・皐月の生理、黒松短葉法の原理 ・懸崖菊2回目の摘心、大鉢への植え付け、施肥、支柱と誘引、栽培棚への設置	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	12
	7	・懸崖菊の仕立て方2	・懸崖菊の3回目の摘心、夏の芽摘み、施肥	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現) ・定期考査(知識、思考、表現)	3
	8	・懸崖菊の仕立て方3	・懸崖菊の裏枝と地表芽の除去、施肥、夏の芽摘み	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	3
2 学期	9	・雑木盆栽の針金掛け ・懸崖菊の仕立て方4	・盆栽の針金掛けの理論 ・懸崖菊の止め摘み、台風対策、止め肥	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	12
	10	・雑木盆栽の植え替え ・懸崖菊の仕立て方5	・盆栽の植え替え理論 ・懸崖菊の曲げ付け、棚固定、展示準備	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	9
	11	・雑木盆栽の刈り込み ・懸崖菊の仕立て方6	・盆栽の選定理論 ・懸崖菊の展示	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	9
	12	・懸崖菊の花後の管理	・懸崖菊の茎切り、品種確認	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現) ・定期考査(知識、思考、表現)	3
3 学期	1	・松柏盆栽の針金掛け ・懸崖菊の次年度に向けた管理	・懸崖菊の冬至芽確認、品種整理 ・松柏の針金かけ	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現)	9
	2	・懸崖菊の冬至芽挿し芽	・懸崖菊の挿し芽、育苗、小鉢に鉢上げ、施肥	・意欲的に実習に取り組ませる。(興味、関心、意欲) ・栽培方法を理解させる。(思考、表現) ・定期考査(知識、思考、表現)	3
	3				